

実施校 妙高市立新井北小学校

学年・人数：4年生・27名

実施日：令和6年6月19日（水）

～もっと知ろう関川のこと～ 新井北小学校4年生が関川の施設の役割を学びました！

● 実施概要

日時：令和6年6月19日（水） 9:10～11:30

場所：関川にある河川管理施設など（別紙の見学施設位置図と経路図を参照）

参加者：新井北小学校4年生 27名

内容：施設見学 ～川に出かけて施設を見学し、その役割を学ぶ～

- ①下箱井水防倉庫（水防資材・備蓄ブロック・浮子保管庫）
- ②水戸の川排水機場・北城樋管（内水はん濫とは、排水機場と樋管の目的）
高田水位流量観測所（水位を測る仕組み、水位の種類、流量観測）
- ③上越工業用取水堰魚道（取水堰の目的、魚道の種類・かたち、サケの遡上状況等）
- ④藤巻災害対策車格納庫（排水ポンプ車、照明車）

● 施設見学の様子



水戸の川排水機場と北城樋管

内水はん濫を防ぐため、河川の水位に応じて、樋管のゲート設備と排水機場のポンプ設備をどのような手順で操作するのかイメージ図で説明しました。



水戸の川排水機場内の操作室

操作パネルの説明のほか、非常用発電機を運転してみました。
停電しても3日間は運転できるよう燃料（重油）を確保しています。



高田水位流量観測所

関川の河川管理施設の中で最も重要な施設の一つです。量水標脇の紫赤黄などの色分けはその水位の時の河川の危険度を示しており、上越市が避難情報を発令する際の目安になっています。



上越工業用取水堰

工業用水を供給するため関川をせき止めて取水する施設（管理者は新潟県）です。取水堰の上下流を魚が行き来きできるような3つの魚道を設置しており、秋にはサケが上っていることを説明しました。



藤巻災害対策車格納庫

- ・格納庫には排水ポンプ車と照明車を4台ずつの、計8台を備えています。
- ・排水ポンプ車は、川からあふれた水をくみあげて、町を洪水から守ります。学校の25mプールの水を約10分で10mの高さまでくみあげられます。
- ・照明車は、夜でも安全に作業することができるよう、明るく照らすための車です。300m離れた場所でも本が読める明るさで照らすことができます。
- ・照明の点灯消灯や高さや向きの調整を、リモコンで操作してもらいました。



出前講座 関川の管理施設見学(R6.6月19日(水))

見学施設位置図・移動経路図

新井北小学校
4年生 27名